

第4回 ヨウ素利用研究シンポジウム プログラム

- 日時：平成13年10月23日(火)
- 場所：千葉大学けやき会館大ホール
- 主催：ヨウ素利用研究会、千葉大学
- 共催：(社)日本化学会、日本ヨード工業会
- 協賛：(社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、
(財)千葉県産業振興センター、(社)千葉県製薬協会、
日本ヨード懇話会、千葉大学共同研究推進センター、
千葉工業大学技術・情報センター
- 参加者：262名

<招待講演プログラム>

< I 部:講演 >

No.	予定時間	テーマ名	所属団体/講演者名
9:00~9:10		<挨拶> 横山正孝(千葉大学 名誉教授)	
(座長:横山 正孝)			
1	9:10~ 10:10	甲状腺におけるホルモンの生合成	千葉大学 名誉教授 細谷 東一郎
(座長:落合 正仁)			
2	10:25~ 11:05	Alkynyliodonium Salts in Organic Synthesis. Applications to the Construction of Naturally Occurring Alkaloids.	Ken S. Feldman Professor of Chemistry, Pennsylvania State University
3	11:05~ 11:45	天然高分子多糖・ヨウ素錯体の呈色性とその構造特異性	東京理科大学理学部 助教授 矢島 博文
4	11:45~ 12:25	Preparation, Structure, and Chemistry of Novel Benziodazoles	Viktor V. Zhdankin Professor, University of Minnesota Duluth

< II 部:ポスターセッション > プログラム

開場 12:00~14:30			
発表と質疑 前半[奇数番号]13:00~13:40, 後半[偶数番号]13:45~14:25			
A	基礎分野	発表件数 20件	物理化学、有機反応理論、分析化学、触媒化学、分子生物学等
B	応用分野	発表件数 13件	資源、環境、エネルギー、エンジニアリング、プロセッシング等
C	実用分野	発表件数 3件	利用、応用、実用品の開発と製品紹介等

< III 部:講演 >

No.	予定時間	テーマ名	所属団体/講演者名
(座長:金子 克美)			
5	14:50~ 15:55	<特> 導電性ポリマーにおけるヨウ素ドーパントの働き	筑波大学物質工学系 教授 赤木 和夫
(座長:大塚 功)			
6	16:00~ 16:40	新規な天然系抗菌剤としてのヨウ素-シクロデキストリン包接体(CDI)	日宝化学株式会社 企画室 主席 部員 萩原 滋
7	16:40~ 17:20	ヨウ素化合物の新規用途開発	三井化学株式会社 生産技術研 究所 主席研究員(千葉大学客員 教授) 海宝 龍夫

17:40~19:00	懇親会(けやき会館レセプションホール)
-------------	---------------------

<ポスター発表プログラム>

23日(火)千葉大学けやき会館

13:00~13:40 前半 奇数番号

13:45~14:25 後半 偶数番号

参加者と発表者のフリーディスカッション

番号	発表タイトル	発表者・研究者	所属
A01	β 位にアルコキシ基を持つ超原子価ビニルヨードニウム塩の合成	○国嶋崇隆・萩山博史・谷昇平・落合正仁+	神戸学院大薬・徳島大薬+
A02	テトラヒドロフランによる λ^3 -有機ヨードンの還元反応	土本芳美・林孝憲・○落合正仁	徳島大薬
A03	超原子価ヨウ素試薬を用いる水中での新規環境調和型酸化反応の開発研究	当麻博文・○前川智弘・滝澤忍・北泰行	大阪大院薬
A04	ジアリールヨードニウム塩とRieke金属を用いた有機合成法の開発	○長田憲典・北村二雄・藤原祐三	九州大院工
A05	新規高分子型超原子価ヨウ素試剤の開発とその反応	○櫻谷憲司・柿沼辰彦・東郷秀雄	千葉大院自然・千葉大理
A06	3配位1,2-ヨードキセタンの合成、構造と反応性	○干場和永・狩野直和・川島隆幸	東大院理
A07	1-アルキンからアルキニルヨードニウム塩の新規直接合成法の開発	○西村直哉・吉田雅紀・原正治	北大工
A08	ヨウ化バリウムを用いるアリルバリウム反応剤の発生法	○柳澤章	千葉大理
A09	ヨウ化フルオロアルキルの一電子還元により誘起されるステレン類のオキシフルオロアルキル化	吉田正人・○村岡恒宏・矢田寿乃・伊与田正彦	都立大院理
A10	PhI=NTsによるチオフェン環硫黄原子のイミド化	○大谷卓・佐野友紀・杉原儀昭・石井昭彦・中山重蔵	埼玉大理
A11	HI_n (裸のプロトン)の発生とその特異性を利用した反応開発:1-(3-インドリル)-4-メチルチオ-2-トシル-1,3-ブタジエンのトシル基転移を伴う環化反応	○松本祥治・岸本卓也・小倉克之	千葉大工
A12	四ヨウ化チタンの特徴を活用する新規有機合成反応	○清水真・早川隆一郎	三重大工
A13	キトサン-ヨウ素錯体の分光特性とその構造に与えるキトサンの側鎖基の影響	○福原充・角田勝則・矢島博文・石井忠浩・指輪仁之+	東理大理・産業技術研+
A14	N-メチル化キトサンヨウ素錯体の物理化学的特性	○下出巧・角田勝則・矢島博文・石井忠浩・山口達明+・滝口泰之+	東理大理・千葉工大工+
A15	セルロース-ヨウ素複合体の物理化学的特性に関する研究	○三輪春奈・角田勝則・石井忠浩・矢島博文	東理大理
A16	ヨウ素との錯形成による基質アミロースの形態変化に基づく α -アミラーゼの活性および反応様式への影響(2)	○藤代智也・竹村哲雄・矢島博文・石井忠浩	東理大理
A17	ヨウ素結合を用いた有機伝導体の結晶設計	○今久保達郎・白旗崇・田嶋尚也・田村雅史・加藤礼三・三宅敦史+・澤博+・西尾豊++・梶田晃示++	理研・千葉大院自然+・東邦大理++
A18	ヨウ化物-臭素酸塩-硫酸系の化学振動反応	○藤枝修子・油谷美保	お茶女大理
A19	I_3^- 分子の電子状態と光分解過程に関する理論的研究	○藪下聡	慶応大理
A20	イオン性液体での芳香族ヨードとアセチレン類のカップリング反応	○福山高英・柳日馨	大阪府大総科
B01	超イオン伝導性ガラスにおけるヨウ素の役割	○河村純一・安仁屋勝+	東北大多元研・熊

			本大理+
B02	クロロミンT-ヨウ素触媒系による水中でのオレフィンのアジリジン化	○南方聖司・鹿野大介・大平落洋二・小松満男	大阪大院工
B03	ポリ(メチルフェニルシラニレンアントリレン)の電気的・光学的特性及びヨウ素ドーピング効果	○土屋政彦・芳賀 裕	千葉工大工
B04	光を利用する α -ヨードケトンから α -ヒドロキシケトンへの変換	○武田章宏・村山力也・紀 順俊 +・高橋知義+++・堀内 昭	立教大理・蘇州大化+・慈恵医大医++
B05	化学酸素沃素レーザー(COIL)開発の現状	○遠藤雅守・南里憲三・武田修三郎+・藤岡知夫	東海大理・東海大工+
B06	Periodonium塩の光酸発生剤への応用	○宮川信一・高原 茂・山岡亞夫	千葉大工
B07	ヨウ素含有ポリエチレン蒸着膜の摩擦・磨耗特性	○大谷親・坂本幸弘・高谷松文	千葉工大工
B08	ヨウ素を含浸させたアルマイトの摩擦特性	○平塚健一・浅川優・船越亮人・高谷松文	千葉工大工
B09	海洋光合成生物によるヨウ素の濃縮と利用	○岩本浩二・市川雄三+・小幡年弘+・二木香与・関 李紀++・白岩善博	筑波大生物・筑波大生命+・筑波大化学++
B10	千葉産のヨウ素の年代とその起源	○村松康行・Udo Fehn+・吉田 聡	放医研・Rochester大+
B11	新規なヨウ化トリフルオロメタンの製法	○常世田和彦・長崎順隆・村丸 創・荒井昭治	エフテック(株)
B12	ヨウ素源としてヨウ化アルカリ金属とヨウ素を組み合わせて用いる新規Sandmeyer型ヨード化反応	○尾関直樹・下村直之・林 憲司・小岩 淳・原田 均	エーザイ(株)
B13	ヨウ素-硫黄系サイクルを用いた熱化学法による水素製造	○久保真治・中島隼人・東 俊一・真崎智郎・小貫 薫・清水三郎	日本原子力研
C01	ヨウ素化合物含浸陽極酸化皮膜のトライボロジー特性	○高谷松文・橋本和明・戸田善朝・前嶋正受	千葉工大工
C02	各種ヨウ素化合物をもちいたアルミニウム陽極酸化皮膜への含浸とその抗菌性およびかび抵抗性の評価	○橋本和明・増田洋子・吉田克巳・戸田善朝・高谷松文	千葉工大工
C03	ヨウ化水素ガスを用いたITO膜のエッチング特性	○柳川紀行・小田川健二・貞本満	三井化学(株)